

第2510地区 第11グループ



2009~2010

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2009~10年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に



THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

2009~10年度
国際ロータリー会長

ジョン・ケニー

弗田和則 会長 テーマ

—— ロータリーの和を大切に ——



6月2日 卓話 共和コンクリート工業(株) 海藻技術研究所アルガテックKyowa
主任研究員 川越 力氏

《第2246回例会》 第43号 6月9日(水)

本日のプログラム

移動例会（職場訪問）「函館市日乃出清掃工場見学」

★会長 弗田和則

★幹事 藤田正男

例会場：函館国際ホテル
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30

〒040-0064 函館市大手町5-10

TEL23-5151

事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F

TEL23-3870

やさしい気持ちは森から育ちます。

子供たちの未来のために森を守りましょう。



函館北ロータリークラブ

環境保全と土に生きる会

森 秀樹

(広告掲載：森 秀樹 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【6月8日現在のアクセス数：9901件(+27件)】

◎ 5月16日出席報告 (薮下義晴 委員)

会 員	26名	出席率対象会員	26名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	15名	当日欠席	11名
他クラブ出席	9名	出席合計	24名
出席率		92.31%	

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・6月16日
プログラム

「各委員長退任挨拶」

6 月 2 日の記録

◎司 会 弗田 和則 会長

◎齊 唱 君が代、奉仕の理想、四つのテスト

◎ゲ ス ト 共和コンクリート工業(株) 海藻技術研究所アルガテック Kyowa 主任研究員 川越 力 氏

★誕 生 祝 松橋会員 (21日)、藪下会員 (28日)

★結 婚 祝 中川会員 (1日)、南木会員 (7日)、西尾会員 (25日)

◎会長報告 弗田 和則 会長

- 5月29日(土)函館五稜郭ロータリークラブ創立40周年記念式典、シンポジウム、祝賀会が開催され、お礼状が届いております。



◎委員会報告

○親睦活動委員会 渡部 二康 委員長

6月30日の会長お疲れ様パーティのご案内を往復ハガキで発送しましたので、ご出席よろしくお願ひします。



◎幹事報告 藤田 正男 幹事

- 既にご案内いたしておりますが、次週の例会は移動例会となります。
- 函館亀田RC14日(月)夜間例会、函館東RC15日(火)自主休会に変更です。
- 例会終了後、理事会を開催いたします。

◎親睦活動委員会 渡部 二康 委員長

ニコニコBOX投入報告

弗田会長……川越様本日の卓話よろしくお願ひ致します。

藤田幹事……函館五稜郭RC創立40周年記念式典に出席してきました。たいへん盛大で立派な式典でした。

森 会員・石橋会員、柴崎会員……弗田会長、藤田幹事残り1ヶ月がんばって下さい。

中野会員……白内障の手術、無事終わりました。

阿部会員・山下(清)会員・小笠原会員・斎藤会員・成田会員

鶴喰会員・新 会員・増田会員・西尾会員……月初めです。

藪下会員……しばらくぶりです。

◎卓話「新しい手法による海藻群落造成のご紹介」

共和コンクリート工業(株) 海藻技術研究所アルガテック Kyowa 主任研究員 川越 力 氏

新しい手法による海藻群落造成のご紹介

共和コンクリート工業株式会社
海藻技術研究所 アルガテックKyowa
主任研究員 川越 力

研究所のテーマ

- ・ 海藻群落の復元と創出
藻場造成技術の開発
- ・ 海藻の有効利用
機能性成分の分析・活用

海藻群落をつくり、活用する！

函館がこめ雑炊の製品化

“カイソウ”という水産植物

海藻・・・岩場

- (ノリ、コンブ、ヒジキ、アオノリ等)
- ・動植物の産卵場、生息場
 - ・藻類
 - ・根、茎、葉の区別がない
→仮根(付着器)、莖状部、葉状部
 - ・食用になる種類が多い

海草・・・砂場

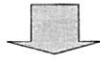
- (アマモ、スガモ、ウミヒルモ等)
- ・動植物の産卵場、生息場
 - ・生活場を陸から海に戻した単子葉種子植物
 - ・根・莖・葉の区別がある

海藻のなかま

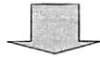


藻場造成事業

環境の変化や人間活動により、藻場が衰退・減少



藻場造成事業が日本沿岸各地で行われている
(藻場の保全や修復が目的)



藻場の機能性や、具体的な対象種で
群落の造成が求められてきている

海藻群落を造成する代表的な方法

藻場造成

- ブロックの設置 ... 海藻が着生する場所を提供する
- 栄養塩の添加、施肥 ... 海藻を生長させる (様々な海藻が生える (目的以外の海藻が増える))

海中造林

- 母藻投入、スポアバッグ ... 自然着生で目的の海藻を増やす (大量の母藻確保が必要)
- 幼体の移植 ... 人為的に目的の海藻を増やす

MOASISの最大の特徴

海中での植林・海藻造林をイメージ

- ・狙った海藻で迅速な藻場造成
- ・移植後の生残率が高い幼体
- ・簡単に確実に幼体を固定する

新しい手法「MOASIS」による海藻群落造成研究のご紹介

函館市: 漁港の水中緑化、利活用
 2009年1月～「ガゴメ群落の造成」
 2009年12月～「コンブ類群落の造成」

森町: ハタハタの産卵基質海藻の群落造成
 2008年10月～「ウガノモク群落の造成」



函館市: 漁港の水中緑化、利活用「ガゴメ群落の造成」

2009年1月 移植現場



森町: ハタハタの産卵基質「ウガノモク群落の造成」

噴火湾内のハタハタは、
ウガノモクの紡錘形側枝上に
卵塊を産み付ける

ハタハタの産卵基質となる「ウガノモク群落の造成」 森町

速やかな事業効果
有用魚介類の資源保全、
藻場の維持、拡大に貢献。
機能性藻場の造成。